

2020.7.21

総合計画審議会
専門部会資料

資料第2号-2

次期総合計画策定に向けた 第5次尼崎市総合計画の点検

—市の点検結果を踏まえて—

案

令和2年8月〇日

尼崎市総合計画審議会

目 次

1. はじめに（点検の手法等）	1
2. 次期総合計画策定に向けた本審議会意見	1
(1) 時代認識について	1
(2) まちづくり構想について	2
(3) まちづくり基本計画について	2
(4) 市民・事業者との共有について	3
(5) 単年度 PDCA から見える成果と課題について	3
3. むすびに	4

第5次尼崎市総合計画の点検について

1. はじめに

尼崎市のまちづくりのPDCAサイクルでは、本審議会がまちづくり基本計画期間を1サイクルとする「計画期間を通じてのPDCA」を担い、現任期中が「Do」「Check」の期間、次期計画策定の検討を行う次期任期については「Action」「Plan」の期間となる。

本審議会として次期計画策定に係る審議を円滑に行うためにも、現任期における点検作業は重要なプロセスであり、そのため本審議会でも現総合計画の点検にあたっての視点等について市と議論を重ねてきた。

本報告書は、その議論を踏まえて市が実施した各種取組に基づく市の現状認識や次期計画に向けた方向性などをまとめた「第5次尼崎市総合計画の点検」（以下「市点検」という。）を踏まえ、次期総合計画策定に向けた審議会としての意見をまとめたものである。

2. 次期総合計画策定に向けた本審議会意見

(1) 時代認識について

【参照：市点検「3. 次期総合計画策定に向けた現総合計画の点検（1）現総合計画策定時との時代認識の比較」】

■概ね妥当とした点

- ・現総合計画策定時の背景についての市の現状認識及び人口減少社会が進行する2040年を見据えた視点は、本審議会としても概ね妥当とするところである。
- ・現総合計画期間における尼崎市では、2016年に「尼崎市自治のまちづくり条例」（以下「自治条例」という。）を施行するなど、自治のまちづくりに向けて大きく前進したといえる。
- ・市では自治条例の理念を具体化するための取組を進め、国に先んじて、公務として継続的に特定の地域に関わる地域担当職員を配置するなど、地域の学びや活動を支援してきており、今後もその取組を充実させ、市民とともにまちづくりを進めていく視点を継続することが望ましい。

■今後も継続して検討が必要な点

- ・人口減少社会においては、外国人の活躍が期待される一方で、そのための情報保障が必要になるなど、現計画策定の背景となった各項目が有機的に連携している点に留意し、トレードオフとなることが無いよう、次期計画策定の背景として項目の組み換えなどが必要である。
- ・社会経済情勢を一変させた新型コロナウイルスは、地域活動のあり方についても影響を与えるなど、その対応は、新たなリスク管理の視点やデジタル技術の可能性だけでなく、これまでの社会の仕組みそのものを大きく変化させるきっかけとなるものである。
- ・次期計画においては、現在の市の現状認識を踏まえつつも、あらゆる分野において従来の考え方にとらわれずポスト近代社会への変化に市として挑戦し、また、その変化に柔軟に対応することが必要と考えられる。

(2) まちづくり構想について

【参照:市点検「3. 次期総合計画策定に向けた現総合計画の点検 (2)市民意見の変化」】

■概ね妥当とした点

- ・市が実施した各種ワークショップにおける参加者が望むまちの将来像や、市民意識調査から見えるまちに望む姿を見ても、市民等のライフスタイルや価値観の多様化に伴い、市民ニーズや地域の課題も複雑かつ多様化していることが推測されるという市の認識は妥当であり、そういった状況下において、市が望むように様々な主体と「ともに」まちづくりを進めていくためには、まちの将来像など、まちづくりのビジョンを共有することは不可欠である。
- ・市が2019年度に実施した「まちづくりに関する意識調査」において、現総合計画の「ありたいまち」の考え方の構成要素となる「望ましいまちの方向性」への意向を確認したところ、「今後そうなるべき」との回答が過半数を超えており、また、市民が望むまちの姿が様々であることに加え、市の課題や魅力も多様である尼崎市においては、市の認識のとおり、特定の都市像を掲げるのではなく、現総合計画のように誰もが共感できる普遍的なものとすることにより、市民との共有が促進されると考えられる。

■今後継続して検討が必要な点

- ・普遍的なまちの姿というだけでは共感するものの、まちの姿として共有し、まちづくりへの参画を促進するという点では十分とは言えず、普遍的でありつつも「尼崎らしさ」を組み込むなどの工夫が必要である。

(3) まちづくり基本計画について

【参照:市点検「3. 次期総合計画策定に向けた現総合計画の点検 (4)市民・事業者に期待する役割の進捗」】

■概ね妥当とした点

- ・まちづくり基本計画の各施策に記載する「市民・事業者に期待する役割」については、ともにまちづくりを進めるという市の総合計画に必要な項目であり、次期総合計画においても引き継ぐべき視点であると考えられる。

■今後継続して検討が必要な点

- ・当該役割については単年度PDCAでは進捗管理ができておらず、その評価手法等にも課題が生じており、また、市の報告によると、総合計画において施策ごとの役割を記載している一方、条例や分野別計画においても市民等の役割が規定されているものがあるなど、規定の仕方についても整理や改善が必要と考えられる。
- ・そのような状況を踏まえ、次期計画における「市民・事業者に期待する役割」については、総合計画が最上位の行政計画であるという位置づけを考慮しつつ、施策別ではなく全施策を俯瞰した共通する役割が望ましく、その進捗管理に負担が生じない手法の検討が必要である。

(4) 市民・事業者との共有について

(参照:市点検「3. 次期総合計画策定に向けた現総合計画の点検 (3)職員の意識の確認」)

■概ね妥当とした点

- ・総合計画のさらなる推進に向けては、職員はもとより、市民、事業者など、まちづくりの主体とのビジョンの共有は不可欠である。
- ・現総合計画においては、市は共有の手法として「ひと咲き まち咲き あまがさき」というまちづくりのキャッチフレーズを活用し、市民意識調査(2019年度実施)においてその認知度が約60%を越えるなど、一定の効果があつたといえる。

■今後継続して検討が必要な点

- ・キャッチフレーズと「ありたいまち」を含めた総合計画との関係性がイメージしにくいと考えられることから、次期計画においては何をどのように共有すべきかを明確にすることが必要である。
- ・具体的な協働の取組の切り口としては、将来を担う若年層の認知度が高いSDGsの概念を活用することにより、取組が促進されることも期待できる。
- ・総合計画のアウトカムは市民満足度の向上であり、市民ニーズが多様な現代社会においてそのアウトカムを得るためには、まちづくりに関わる主体同士がしっかりと対話し、お互いを理解し合い、協力しながらまちづくりを進めることが重要である。

(5) 単年度 PDCA から見える成果と課題について

【参照:市点検「3. 次期総合計画策定に向けた現総合計画の点検 (5)単年度 PDCA から見える成果と課題」】

■概ね妥当とした点

- ・尼崎市が実施する PDCA サイクルは、市の内部評価にとどまらず、多様な評価主体によってチェックされる仕組みとなっており、また、施策評価を中心に PDCA サイクルそのものが毎年度改善されるなど、まちづくりを進めるための PDCA サイクルとして妥当と考えている。
- ・尼崎市では、まちづくりの進捗状況を市民と共有するため、「まちの通信簿」を作成し公表するとともに、「ファミリー世帯の転出超過世帯数」と市民の3つの意欲を指標化した「市民参画指数」を総合指標として設定し、個別の評価だけでなく、まちづくり全体のアウトカムとして俯瞰的に評価し、それをわかりやすく周知するという市の取組は評価できる。
- ・この二つの総合指標は「定住人口」だけでなく「関係人口」をターゲットとしており、この考え方は人口減少が進む次期総合計画期間においてさらに重要度が増すと考えられる。
- ・市が進める施策間連携の取組は、行政を含めた PDCA サイクルの評価主体のスキルアップにもつながるものと考えられることから、次期計画においても、PDCA サイクルのブラッシュアップとともに継続していくことが妥当と考えられる。

■今後継続して検討が必要な点

- ・まちづくり基本計画の根幹となる施策体系や計画期間中の主要取組項目、各施策の展開方向などについては、単年度 PDCA を進めるうえで生じる課題を踏まえつつ、今後の取組の進捗や個別計

画との整合性など、目指すべきビジョンに向けてどういった形が望ましいのか、次期計画がより実効性の高いものとなるよう単年度 PDCA の成果と課題をさらに蓄積したうえで、具体的な検討が必要である。

3. むすびに

次期計画策定に向けて、尼崎市としてのまちづくりの方向性などを含め、今後、多岐にわたる議論を行う必要があるなかで、本審議会として現任期中をかけて、現計画の進捗管理として単年度 PDCA の積み重ねで生じた成果と課題や、市が実施した各種取組に基づく市の現状認識などを踏まえ、点検を行った。その結果を次期任期における本審議会へ申し送ることで、次期計画策定に係る審議が円滑に進み、次期計画がより良い計画となることを期待して点検結果のむすびとする。

以 上